

「かごしま有機抹茶輸出促進基本構想」の概要について

趣旨

○ かごしま茶の輸出を促進するため、海外で需要の高い有機抹茶の生産・流通拡大に向けた今後の基本的な取組方向を示すものとして策定

現状・課題

**H28年度
かごしま茶輸出額
2.2億円（煎茶）**

- 1 有機栽培によるてん茶加工用生葉の生産は拡大傾向
⇒ 生産安定・品質向上に向けた生産技術の高度化が必要
- 2 抹茶原料用てん茶の需要拡大と加工技術の向上
⇒ てん茶の生産流通体制の整備，加工技術の高度化が必要
- 3 抹茶加工施設は，1社が整備したものの小規模
⇒ 抹茶加工施設整備を進め，本県から抹茶を直接輸出できる体制の整備が必要
- 4 健康志向等を背景に，有機抹茶の需要が拡大傾向
⇒ 輸出相手国の消費動向等に応じたプロモーション活動が必要

基本構想の実現に向けた取組

1 有機栽培茶の生産拡大

- ◇ 有機栽培茶園の団地化推進
- ◇ 有機栽培技術の開発・普及
- ◇ 有機JAS認証の取得促進 など

2 てん茶の安定供給

- ◇ てん茶工場の新設支援
- ◇ 茶市場への上場など安定した出荷先の確保支援
- ◇ 求評会等を通じたてん茶品質の向上 など

3 抹茶加工施設の整備

- ◇ 県内における抹茶加工施設整備促進
- ◇ 生産者と茶商等が連携したモデル施設の整備検討
- ◇ 抹茶加工施設の安心・安全な生産体制づくりへの支援 など

4 有機抹茶の輸出拡大

- ◇ 有機抹茶の生産・流通体制整備
- ◇ 欧米を重点市場とし，その他新規市場の開拓にも注力
- ◇ 品質と安心・安全を前面に出したプロモーション等による販路拡大や需要創出 など

目指す姿 平成37年（2025年）

- ◆ かごしま有機抹茶の輸出に向けた生産・流通体制が整備
- ◆ 海外でのプロモーション活動が展開され，かごしま有機抹茶の輸出が拡大

**「かごしま有機抹茶
輸出促進基本構想」
輸出目標額
16億円**

**「鹿児島県農林水産物
輸出促進ビジョン」
輸出目標額
20億円を実現**
・煎茶： 4億円
・抹茶： 16億円

推進体制等

かごしま茶輸出対策実施本部
・茶業関係者が一体となった取組を展開



県産農林水産物輸出促進ビジョン推進本部